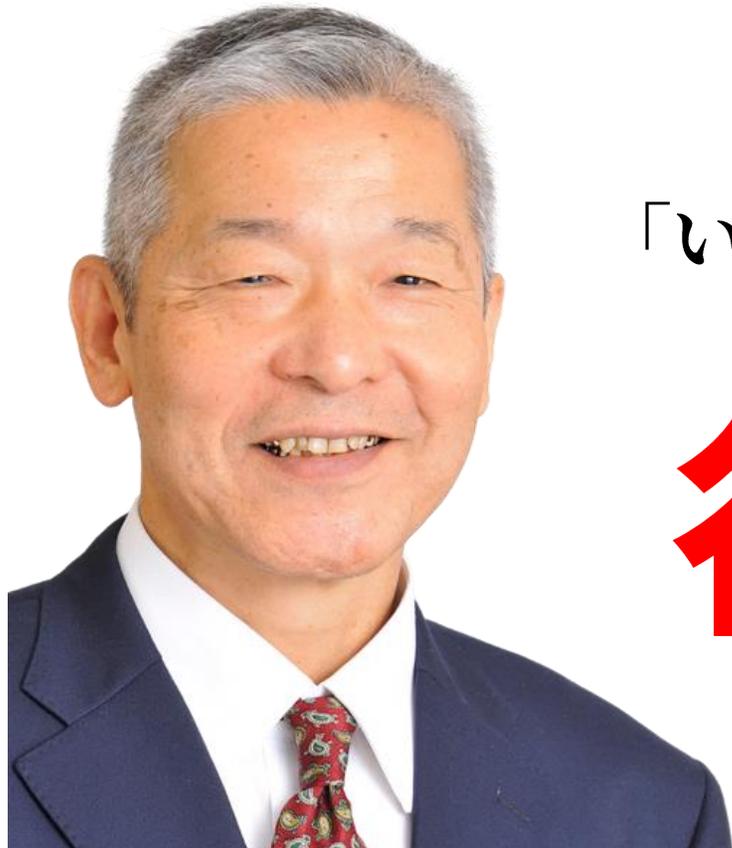


「いのちとくらし」を 徹底して守り抜く



谷口 市会議員 きみひろ

プロフィール【現在】城陽市会議員（1期）社会福祉士。「京都被爆2世・3世の会」世話人。「富野・長池9条の会」世話人。富野南垣内在住。【略歴】鹿児島県出身、69歳。早稲田大学卒。国税庁国税専門官などを経て、府立高校教員、洛東・八幡・久御山・城陽・木津・鴨沂（定）校で定年退職。城陽市学童保育保護者会連絡協議会会長、富野学童保育保護者会会長を歴任。

繰り上げ当選以来、7回の議会でみなさんの願いを市政に届けてきました。

- ◆東部丘陵地開発による市民生活への影響
- ◆危険な天井川（青谷川・長谷川など）の洪水対策
- ◆避難所の充実や高齢者・障がい者施設の充実
- ◆給食費の無償化や子どもの医療費の18歳までの無料化
- ◆補聴器購入への財政支援

など。

洪水の避難対策では「高台の徒歩避難など個別避難を」という市に対し、八幡市の例も示し、市の責任をもった対応を求めました。

大型開発から、くらし・福祉・教育と地元産業を大切にする市政にするために全力をあげます。

情熱・正義の人 谷口さん

谷口さんは、生徒たちを大切にするだけでなく、間違っことは徹底的に追求して正義を貫く情熱の人。市会でも市民目線で弱者に寄り添って市政へがんばってくれています。

（水主在住・府立高校教員時代の同僚）

私のお約束

- 18歳までの医療費無料化
- 学校給食費の無償化
- 国保税均等割りは収入のない高校卒業まで無料に
- 水道基本料金の免除（継続）
- 学校トイレの洋式化の推進、小中学校すべての特別教室と体育館にエアコン設置など教育条件の整備
- 公共交通を充実させ、市民の移動手段の確保
- 障がいのある人や子どもたちへ支援強化と、施設への助成の拡充
- 青谷梅林（生産・観光）振興支援の拡充
- 住宅リフォーム助成制度の拡充
- 防災対策の充実
- 生活道路の整備、通学路・歩道の安全対策
- 中小業者への市独自の助成金・補助制度の創設
- 家族農業応援施策と獣害対策の充実

反戦つらぬき101年 日本共産党を伸ばして ください

わたしの原点は、長崎での母の被爆体験です。母は爆心地から1.5kmの工場内で被爆し、九死に一生を得ました。幼いころから、戦争の惨禍を聞いて育ちました。

高校の教員として、平和や人間の生き方について多くの生徒たちと考え続けてきました。

相手国の最優先の攻撃対象になる長距離ミサイルの保管庫建設など、絶対に許してはなりません。

城陽市から平和の声を上げ、市民のいのちとくらしを守るため全力を尽くします。

自民・公明・維新の大軍拡にNOの審判を

5年で43兆円

射程1000km超
「12式地对艦ミサイル」
→沖縄から台湾まで



射程3000km
「極超音速ミサイル」
→沖縄から中国・ロシアまで



政府が開発を進める
長距離ミサイル

住民は犠牲に？
自衛隊基地は核攻撃に
備えて「シェルター化」



祝園弾薬庫
長距離ミサイルの
保管庫建設の計画

自民・公明など市長与党と対決 市民の願い実現へ、しっかり働きます



市会議員

谷口きみひろ

日本共産党は、大型開発最優先、市民にそのツケを押しつける現市政とその与党にキッパリ対決、くらし最優先の多くの提案で市民の願いを実現してきました。はっきりものを言い、しっかり働く日本共産党の4人の議員団は市民の願い実現の大きな力です。

多くの提案で
粘り強く実現へ

学校トイレの洋式化 小中学校へのエアコン設置の推進

数年前まで「男女共用トイレ」が残るなど城陽市の学校トイレの洋式化など改修が遅れていました。日本共産党は、粘り強くとりくみ、学校トイレの洋式化やエアコン設置がすすみました。市長与党議員から「暑いときは暑いものに耐える…」「同じような請願…権利を濫用」という意見がでるなか、市民のみなさんと力をあわせて推進してきました。近鉄寺田駅・JR青谷駅にエレベーターの設置、古川の河川合流部の拡幅、通学路の安全対策などまちづくり、安全、防災対策に全力をあげてきました。

現市政と
キッパリ対決

市民負担増とくらし・福祉・教育の 切り捨てストップへ

大型開発のツケを市民に押しつけ

現市政 **東部丘陵線建設費 97 億円**
他にも開発関係に多額の費用

- 文化パーク城陽を 80 億円で売却。
リース代は 100 億円（毎年 4 億円支出）
- 続々と値上げし市民に負担押しつけ
- ◇給食費年間 3800 円増
- ◇水道料金 23.4%、下水道料金 14.5%引き上げ
- ◇文パルや総合運動公園の駐車料金値上げ
- ◇さんさんバス代 150 円→200 円に
青谷タクシー 150 円→200 円に
- さらに……
2 校で中学校プールをなくし民間施設を利用



市民と力あわせ、くらし最優先の市政に

市民からの請願に **100%賛成**
日本共産党

市民に背を向ける市長与党
自民・公明党は **100%反対**

2019年6月議会～2022年12月議会

請願内容	共産	自民 公明
消費税のインボイス制度の実施中止を	○	×
水道の水源として地下水利用を守る	○	×
教育格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める	○	×
加齢性難聴者の補聴器購入に係る補助制度を求める	○	×
すべての建設アスベスト被害者救済のため…補償基金創設を求める	○	×

○賛成 × 反対

大型開発最優先の市政から市民のくらしを守る 日本共産党の4人の議員団

みなさんと
力あわせ

安全でおいしい地下水守る先頭に

広域化プランで浄水場を廃止して、府営水（天ヶ瀬ダムの水）100%にする計画を決定して推進しようとしています。府の意向に対して、ダメなものはダメとキッパリ主張しているのが日本共産党議員団です。水道水源として地下水利用を守って！という市民の誓願に賛成し、署名運動を応援しています。日本共産党は、みなさんと力をあわせ、安全でおいしい地下水を守るために頑張ります。

